NEWS RELEASE

2024年6月11日
日野コンピューターシステム株式会社

2024年5月7日発行の「運輸新聞」にジャパントラックショー2024の出展とHINO-CONNECTを活用した物流ソリューションの当社記事が掲載

運輸新聞　2024年5月7日（火）　（第三種郵便物認可）

日野コンピューターシステム

重藤崇志 室長

「HINO－CONNECT」

車両位置情報など可視化機能を強化

日野コンピューターシステムは日野自動車ブースで共同出展。日野自動車製トラックに全車搭載されるコネクティッドデータ「HINO-CONNECT」を活用した革新的な物流ソリューションをアピールする。

HINO-CONNECTは日野自動車製トラック全車に標準搭載された車載器を通じ、稼働データをもとに安全運転などをサポートする無料サービスだ。もともと車の設計に生かすために活用していたが、今後はユーザー側もデータを必要とすると判断、顧客サービス一環の位置づけで提供を開始した。

走行車両の緯度・経度、燃費、エンジン回転数などのデータをダウンロード可能とするほか、安全装置（フリクラッシュセーフティ＝PCS）作動などの緊急時には日野自動車からユーザーへのメール送信を行う。車内LANの標準プロトコルに採用されている通信国際規格CAN（Controller Area Network）に対応したものだ。

「HINO-CONNECTを可視化するためのインターフェースがこれまでは存在しなかった」とソリューション推進部事業推進室の重藤崇志室長は語る。

そこで同社は、ドコマップジャパンと連携、「docomap Vehicle」の提供を開始し、車両位置情報管理サービスを強化した。

対象車両の位置情報や走行履歴、車両の速度表示などの機能に加え、1年前にバージョンアップした「docomap Vehicleプレミアムプラン」では、燃料消費量、CO_2排出量の見える化、総走行距離、エンジン回転数、車両・ふらつき警報作動情報、ドライバーモニター警報情報のほか、滑りやすい路面やカーブでの事故抑制に貢献するVSC、衝突回避や衝突時の被害軽減をサポートするPCSにも対応する。

HINO-CONNECTとdocomap Vehicleにより、専用GPS端末は不要で、さまざまなアプローチからの車両管理が実現する。

「今年からお客様へのアピールを強化した。現在HINO-CONNECTと連携したdocomap Vehicleの導入実績は約1200台だが、ジャパントラックショーにおいても来場者の方々に良さをお伝えしたい」と重藤室長。

同社はdocomap Vehicle以外も、物流業界のニーズに応えるため、積載重量の可視化、積載率の低い車両の運行計画見直し、共同配送計画の基礎データとして活用できるレポート作成などのサービスも提供する。

物流2024年問題については日野グループとして、メーカー目線からの物流業界の課題解決を提案。ユーザーを対象としたウェビナーを通して啓もう活動を定期的に開催している。

「紙による伝票や、定性的にわかっているが実現できていない慣習の課題解決について、DXを提案していきたい。最新のテクノロジーとデジタルの力を活用して、運送事業者のビジネスを効率化し、競争力を向上させることができるよう、より安全、より効率的、より確実なものにしていきたい」と語っている。

【お問い合わせ先】
日野コンピューターシステム株式会社　ソリューション推進部
Email：　dxinfo@hcs.hino.co.jp

【報道関係者お問い合わせ先】
日野コンピューターシステム株式会社　管理部
Tel:　　042-581-7790　（平日 8 時半～17 時半）
Fax:　　042-581-7795
Email:　kanri2-h@hcs.hino.co.jp